

東京農工大学 大学院農学研究院
生物システム科学部門 准教授 募集要項

1. 募集職名 准教授（1名）
2. 所属先 大学院農学研究院 生物システム科学部門
3. 兼務先 大学院生物システム応用科学府
農学部 応用生物科学科
4. 募集概要 国際的な視野と人的なネットワークを持ち、昆虫、植物あるいは微生物を主体とした生物間相互作用に関する教育と国際的に影響力のある研究をリードできる博士号を有する人材を公募します。博士号取得後に国内外の教育研究機関等で教育・研究に従事した経験を有し、博士課程を含む大学院生および学部生に対して教育・研究指導ができる人材を求めています。着任後は、大学院生物システム応用科学府食料安全科学教育研究分野（農学部応用生物科学科生物制御科学講座を兼務）に配属され、所属の教員と協力して教育研究に従事していただきます。
5. 担当予定科目 （大学院）食料安全科学特論 I,II、基礎技術演習、
Project-Based Learning 科目（令和5年度より新設）等
（学部）生物相関学、応用生物科学専門実験 III、卒業論文 等
6. 応募資格
 - ・博士の学位を有し、独立して研究を遂行する能力をもつこと。
 - ・独創的で優れた研究業績を有し、熱意をもって大学院生・学部生に対する教育・研究指導を遂行できること。
 - ・国内外の大学や研究機関等で教育・研究に従事した経験があり、農工協働研究に積極的に取り組む人材が望ましい。
 - ・協調性があり、積極的に学内業務や社会貢献活動に取り組めること。
 - ・国籍は問いません。ただし、日本語での授業が可能なこと。
7. 採用予定日 令和5年4月1日（予定）
8. 勤務条件等
 - 1) 給与 経歴・職位・職務内容に応じて、本学の規程により決定（各種手当あり）
 - 2) 勤務 裁量労働制（7時間45分/日）
 - 3) 任期 なし
 - 4) 定年 65歳
9. 提出書類
 - 1) 履歴書（写真貼付。学歴は高等学校入学以降を記載）
 - 2) 研究業績目録（学位論文、原著論文、著書、総説、特許、受賞歴、招待講演、外部資金獲得実績等を記載。なお、応募者本人の名前の下にアンダーラインを付し、原著論文の場合には責任著者に印（*）をつける。外部資金については、代表者と分担者の区別を明記）
 - 3) 教育実績目録（これまで担当した講義科目、主指導教員または副指導教員とし

て博士前期および後期課程の学生を指導した人数を明記)

4) これまでの教育と研究の内容と着任後の抱負 (2000 字以内)

5) 応募者の研究、人物について照会できる方 2 名の氏名と連絡先を記載した書類

6) 研究業績目録に記載された原著論文や著書等のうち、主要なもの 5 報の PDF ファイル

*英文での申請も可能です。ただし十分な日本語のコミュニケーション能力が必要です。

上記 1) ~6) の書類を 1 つの PDF ファイルにしてください。

- 1 0. 提出方法
- ・書類提出先のアドレスへ電子メールにて提出のこと (最大ファイル容量 25MB、容量を超える場合には、6)の主要な別刷りを別のファイルにして送付してください)。それでもファイル容量が超過する場合は、送付前に以下の問合せ先に連絡してください。
 - ・メール件名に「准教授応募 (応募者氏名)」と記載してください。
 - ・提出書類を受け取りましたら、2 日以内に受領確認メールをお送りします。もし返信がない場合は、下記の間合せ先に必ずご連絡ください。
 - ・パスワードを設定し、パスワードは別メールにてご連絡ください。
- 1 1. 応募締切 令和 4 年 11 月 30 日 (必着)
- 1 2. 選考方法
- 第一次選考 提出書類に基づいた書面審査
第二次選考 プレゼンテーション・面接
最終候補者一名については、追加の面接選考が行われることがあります
※面接等に必要な旅費は自己負担となります
- 1 3. 書類の提出先 〒184-8588 東京都小金井市中町 2-24-16
東京農工大学 大学院生物システム応用科学府 生物システム科学部門
部門長 豊田剛己 (E-mail: kokit@cc.tuat.ac.jp)
- 1 4. 問合せ先 東京農工大学 大学院生物システム応用科学府 准教授候補選考委員会 委員長
豊田剛己 (E-mail: kokit@cc.tuat.ac.jp Tel & Fax: 042-388-7915)
- 1 5. その他
- ・応募書類により得られる個人情報、准教授候補者の選考、採用時の給与や社会保険等の手続等に必要な場合に限り利用するものであり、これらの目的以外で使用することはありません。
 - ・提出書類のファイルは責任を持って廃棄します。
 - ・東京農工大学は男女共同参画を積極的に推進しています。
(詳細) 東京農工大学男女共同参画推進室 HP
http://web.tuat.ac.jp/~dan-jo/danjo_new/index.html

16. 備考

- 1) 東京農工大学は、全学的な教員組織として「農学研究院」と「工学研究院」を設置しています。本公募において採用される教員（以下、本教員）は、農学研究院設置された生物システム科学部門（構成教員9名）に所属し、主に教育組織である農学部応用生物科学科と大学院生物システム応用科学府で講義や学生指導等の業務に従事して頂きます。
- 2) 応用生物科学科には分子生命化学講座、生物機能化学講座、および生物制御学講座の三つの講座があり、本教員は生物制御科学講座に所属して頂く予定です。
- 3) 大学院生物システム応用科学府は、生物機能システム科学専攻（博士前期および博士後期課程）、食料エネルギーシステム科学専攻（リーディング大学院、5年一貫制博士課程）、および早稲田大学と共同設置する共同先進健康科学専攻（博士後期課程）の三つの専攻から構成されています。本教員は、主に生物機能システム科学専攻と食料エネルギーシステム科学専攻に係る種々の業務に従事して頂きます。
- 4) 生物機能システム科学専攻の学生定員は、博士前期課程が59名、同後期課程が12名です。一方、食料エネルギーシステム科学専攻の学生定員は10名です。
- 5) 生物機能システム科学専攻と食料エネルギーシステム科学専攻を担当する教員は、本教員を含めて26名です。内訳は、上記の農学研究院生物システム科学部門に所属する9名（教授4、准教授4、助教1）に加え、工学研究院に所属する17名（教授8、准教授8、助教1）です。
- 6) 上記のとおり大学院生物システム応用科学府には農工の両研究院に籍を置く教員が所属しており、農工協働による教育と研究を実践しています。従って、本教員は農学系の教員に限らず、工学系の教員とも協力し、意欲的に教育と研究を推進することが求められます。
- 7) 本教員には、独自にめざす教育と研究の深化に加えて、大学院生物システム応用科学府が実施するべき教育研究プログラムの立案や運営に積極的に参画することが求められます。